

## 美術研究科彫刻専攻

### 養成人材およびカリキュラム編成の方針

彫刻科では、現在の状況を的確に判断し、将来を展望できる豊かな感性を持つ人材の養成を目的とする。特色のある7つの研究室の教育体制のもと、学生の研究目的に合わせてより高度で専門的な指導をうけることができるカリキュラム編成となっている。また、将来作家として独創性あふれる創作活動を行うために必要となる能力の育成を念頭とし、社会に積極的に視野を向け、分野にとらわれない創造性を養う機会も設けている。

### 求める入学者像

- ・ 彫刻表現を通して、広く社会に貢献しようとする高い志を持つ者
- ・ 学部で習得した基礎能力や技術を基に、より専門的な研究に積極的に取り組む意欲がある者
- ・ 現代の新しい感性と彫刻の創造に資する多様な能力を有する者

### 卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「修了制作」を含めた所定の単位を修得した学生を修了と認め、修士の学位を授与する。「修了制作」の評価は、専任教員全員で修了制作の審査・採点を行い、評価を決定する。

### カリキュラム構成

【1年次】所属研究室の指導教員や関連教員と研究内容についてのディスカッションを通し、研究課題を決定する。学期末に研究作品制作の報告を行う。

【2年次】指導教員や関連教員とディスカッションを通して、修了制作の研究内容を決定し、修了制作を制作し、修了作品展において成果を発表する。

### 教育目標

- ① 学部で習得した基礎能力や技術を基に、より専門的な彫刻を追求する。
- ② 既存の枠にとらわれず、創造、表現、研究など様々な箇所でも独自の能力を高める。
- ③ 自立して創作、研究活動を行うための必要な能力や技術を習得する。